取扱説明書

HG-DZ50

ご使用になる前に、必ず取扱説明書をお読みください。

おねがい

このたびは穴掘り機をお買い上げ賜わり厚くお礼を申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取扱と保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。 なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

注意文の ⚠危険 ⚠警告 ⚠注意 の意味について

使用上の注意事項は、下記マークで表示しています。

⚠危険　誤った取り扱いをした場合、死亡または重傷を負う可能性がある場合のご注意。

⚠警告　誤った取り扱いをした場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合のご注意。

⚠注意　誤った取り扱いをしたとき、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合のご注意、及び物的損害のみの発生が想定される場合のご注意。

⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。 いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

本書の内容は、後日変更する場合があります。
本機は国内専用です。

もくじ

⚠ 警告

●作業を始める前に

・指定された用途以外には使用しないでください。
・身体の調子が悪いとき、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
・すべりにくい靴、手袋、保護メガネ、保護帽などの作業に適した服装を心掛けてください。
・騒音から耳を守る為、適切な保護具を使用してください。
・正しい操作を知らない人、子供には操作をさせないでください。
・視界が良くないときは使用しないでください。また、雨中や雨上がりのぬれた場所では使用しないでください。
・エンジンを始動する前には使用前点検を必ず行ってください。
・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行って下さい。
・燃料をこぼさないように注意し、燃料タンクキャップを確実にしめてください。
もし、燃料がこぼれた場合はきれいにふき取って下さい。
・排気ガスには十分に注意してください。
・ドリルビットは確実に取り付けられているか、先端工具に異常がないか確認してください。

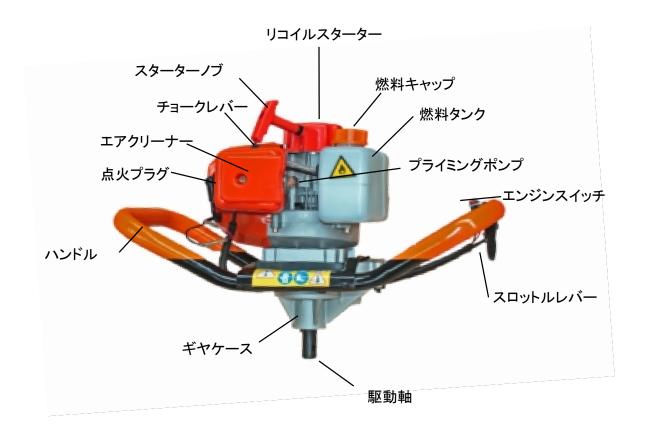
●作業中の注意

・回転しているドリルビットに手又は足を絶対に触れないでください。
・穴をあける場所の異物はあらかじめ取り除いておいてください。
・木の根や岩のあるところでは作業はしないでください。
・ドリルビットが異物に突き当たったり、異物が巻きついた場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、ドリルビットに異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ穴掘り機を再始動しないでください。
・左右のハンドルをしっかり握り、正しい姿勢で作業をしてください。
・動作中の機体から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。
・危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンを停止してください。
・作業中は、他の人や動物を近づけないでください。

⚠ 注意

・燃料は混合ガソリンを使用してください。
・穴掘り機を保管、運搬するときは、先端工具を外すかカバーをかけてください。
・用途に合ったドリルビットをご使用ください。 地面用、氷用、穴あけ直径など。

各部の名称と取扱

リコイルスターター
スターターノブ
燃料キャップ
チョークレバー
燃料タンク
エアクリーナー
プライミングポンプ
点火プラグ
エンジンスイッチ
ハンドル
スロットルレバー
ギヤケース
駆動軸

●ギヤケース

ギヤケースへのオイルの補充は必要ありません。

ギヤケース

●キャブレター(気化器)

気化器の調整は、工場出荷時に最適に調整してあります。

気候、作業負荷により、アイドリング回転が高すぎ、ドリルビットが回っているときは
アイドル調整ネジを調整してください。

ネジを右に回すとアイドル回転が高くなり、左に回すとアイドル回転が低くなります。

●点火プラグ

1.点火プラグキャップを取り外します。

2.点火プラグを取り外します。

3.点火プラグをワイヤブラシで清掃します。

4.隙間は0.7mm～0.8mmが適切です。

キャップを外すと点火プラグが見えます。
付属のプラグレンチを使って外します。

点火プラグ品名　JL　BM6A

●エアークリーナー

エレメントが目詰まりした状態になると、出力低下、始動困難になります。
時々掃除をしてください。

エレメントの外し方

1.六角ボルトを緩め、ケースを取り外します

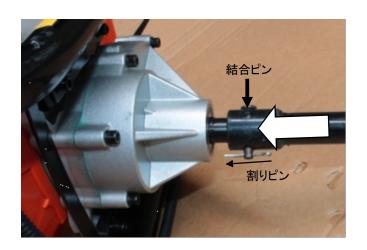
2.黒い蓋を取り外します

3.エレメントを取り出します。
4.エレメントをガソリンで洗浄後、固く絞り、乾燥させてから、取り付けます。

●ドリル刃の取り付け

1.ドリルを駆動軸に差し込みます。

2.駆動軸の穴とドリル側の穴を合わせ、結合ピンを差し込みます。

3.結合ピンが抜けないように、割りピンを通します。

●燃料の点検

燃料(潤滑油混合ガソリン)の量を点検します。

・燃料タンクの液面を見て残量を確認します。
・少ないときは上限の位置まで補給してください。

使用燃料　潤滑油混合ガソリン　25:1

補給後、給油キャップを確実に閉めてください。

●ドリルの割れ、曲がりの点検

ドリルの切り刃を点検し、ダメージ、割れ、曲げなどがないことを点検します。

●ネジの緩みの点検

各部のネジの緩みを点検してください。

●エアクリーナーの点検

エアクリーナーのエレメントの汚れを点検します。
目詰まりした状態になると、出力低下、始動困難になります。

⚠ 警告

・点検、整備を行うときは、エンジンを停止してください。
・換気の良い場所で行って下さい。
・火気を近づけないでください。
・静電気を除去してから給油してください。
・燃料はこぼさないように補給してください、万一こぼれたときは完全にふき取って下さい。
・燃料は注入口の口元までいれず給油限界位置を超えないように補給して下さい。

⚠ 注意

・燃料は作業に必要な量を都度準備してください。
・レギュラーガソリンだけで運転をしないでください。 誤った混合比の燃料を使用すると
エンジンの故障の原因になります。

●エンジンのかけかた

1．エンジンスイッチをONにします。

2.プライミングポンプを数回押して
ください。

3.チョークレバーをON(全閉)にします。

4.ハンドルをしっかり押さえて、
片手でリコイルスターターノブを数回強く引いてください。
まずノブを軽く引き、重く感じたところで一旦止め、ノブを一度戻して
から勢いよく引くとエンジンがかかります。

ノブは、リコイルスターターの紐が出口に出来るだけあたらないように、まっすぐに引いてください。

5.エンジンが起動し運転状況を確認します。
異常がなければ、チョークを全開にします。

6.数回繰り返してもかからない場合は、チョークを開の位置にし
再度リコイルを引いてください。

⚠注意

・**エンジン始動と同時にドリルが回転する場合がありますので、注意してください。**
・紐を引いたあと急に手を放さないでゆっくり戻してください。始動装置や周りの部品を破損することがあります。
・運転中はリコイルスターターを引かないで下さい。エンジンに悪影響をあたえます。

●エンジンのとめかた

1. スロットルレバーを離して低速回転にします。
2. エンジンスイッチをOFFにしてください。

穴掘り作業の操作要領

1.エンジンをかけた後、しっかりハンドルを握り、下向きに押さえながら、穴掘りを始めます。

2.ドリルが10cm前後地面に入った後、ハンドルを強く押して、掘り下げます。

3.深掘時は、時々ドリルを引き上げ、廃土しながら徐々に堀下げて下さい。

4.穴掘り完了後、地中からドリルを引き上げ、エンジンを3秒前後回転させて、停止してください。

⚠ 警告

・すべりにくい靴、手袋、保護メガネ、保護帽などの作業に適した服装を心掛けてください。
・騒音から耳を守る為、適切な保護具を使用してください。
・近くにいる人から少なくとも5メートル離れて使用してください。特に子供、動物などを近づけさせないようご注意ください。
・視界が良くないときは使用しないでください。また、雨中や雨上がりのぬれた場所では使用しないでください。
・土中の石塊、レンガなど硬い物にぶつからないよう気を付けてください。けがする恐れがあります。
・無理な環境下で本機の使用を避けてください。平坦、かつ柔らかな畑でのご使用をお勧めします。
・本体を身体に近づける時は、安全を考慮して、できるだけドリルを避けて、ハンドルの方から近づけするようにしてください。
・作業休憩時、または別の場所へ移動するときは、エンジンを必ず止めてください。
・作業者以外の人は本機を操作しないでください。
・エンジンが始動中に、ドリルの切り刃を絶対に触れないでください。
・作業時に、作業服、作業ズボンがドリルに巻き込まれないようご注意ください。

⚠ 注意

・エンジンを止めてドリルの回転が止まった後に、地面に置いてください。
・長時間作業時、エンジンが過熱してストップしないよう、時々空転させてください。
・深堀時は時々ドリルを引き上げ、排土しながら徐々に掘り下げるようにしてください。

保管の方法

作業が終わりましたら、次の手入れを行い、保管してください

1.ネジの緩みがないか点検し、緩んでいるところがありましたら、締め直して下さい。

2.燃料タンクの燃料を抜き取ります。

3.エンジンを再び始動させ、キャブレター及び燃料パイプ内の燃料を使い切って下さい。

4.スパークプラグの穴から少量の2サイクル専用オイルを入れ、リコイルスターターで
ゆっくり数回空転させ、リコイルスターターが重くなったところ(圧縮のあるところ)で止めてください。

5.エアクリーナーなどを点検し、清掃、乾燥させてから取り付けてください。

6.湿気の少ないところで、チリやほこりが付着しないように格納してください。

7.子供の手の届かない安全な場所に保管して下さい。

⚠ 注意

・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行って下さい。

機械が故障と思われるときは、まずご自身で下表を参考に点検・修理を行ってください。

●エンジンがかからない

症状	原因	対処
点火プラグに火花が出ていない	①始動スイッチボタンの不良、 ②スパーク・プラグ不良 ③スパーク・プラグ・キャップ接続不良 ④イグニッションコイルの不良 ⑤イグニッションに関る配線不良	交換 交換 調整 交換 正しく接続
キャブレターに燃料が来ていない	①燃料がはいっていない ②燃料ホースの詰まり、漏れ ③燃料タンクに異物混入による詰まり	燃料を入れる ホース清掃、交換 交換、
エンジン内に燃料が来ていない	①キャブレータ詰まり	キャブレタ分解掃除

主要諸元

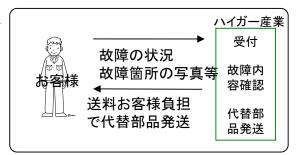
モデル	HG-DZ50
エンジン	49cc2スト空冷
エンジンパワー	1.7kw
シャフト径	Φ20mm
推奨ドリルサイズ	Φ40mm～150mm
回転速度	170rpm
燃料	混合ガソリン(25:1)
本体重量	10kg
本体サイズ	500×290×350mm

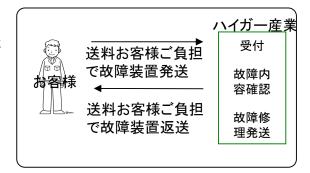
この仕様諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

お客さまご相談窓口

まず、「故障と思ったら」を参考に、ご自身で点検してください。

●故障部品をお客様で交換される場合

保証期間内は消耗品を除き壊れた部品は当社で保証します。
送料は全てお客様のご負担となります。

●故障品をメーカーで修理する場合

保証期間内の本体修理も無料で承ります。
その際に生じる往復の送料はお客様のご負担となります。

修理を依頼される時は
下記の事項をご連絡ください。

① 故障の状況
② 型式
③ 製造番号
④ ご購入年月日
⑤ お名前、ご住所、電話番号

お問合せ先

本社　ハイガー産業株式会社
〒370-0503
群馬県邑楽郡千代田町赤岩3072-3
TEL0276-55-2275　　FAX0276-55-2276